

Gallery PARC

日本、韓国、メキシコのアーティスト達の展覧会を山本聖子がキュレーション

2015年、メキシコでの1年間の在外研修を経て Gallery PARC で展覧会『白い暴力と極彩色の闇』を発表。内外で精力的に活動続けるアーティスト・山本聖子がキュレーションに初挑戦する。キュレーションとはコンセプトや出品者を決め展覧会をディレクションすること。今回、山本は、自身が活動の中で出会い「ともに現実を見つめてゆきたい」と感じたアーティストたちに出品を依頼。言語を異にする作家たちと山本とは web上の公開日記で意見交換をしながらテーマを模索した。そのプロセスには、他者の感覚に触れながら自身のテーマを深めようとする山本のスタンスが伺える。展覧会を企画する側と作家の関係を解き放つ試みだ。この展覧会は、西枝財団の助成により GalleryPARCのほか京都市北区の瑞雲庵でも同時開催される。

山本聖子キュレーション展「タイトル未定」11月12日(土)~12月11日(日)の土日のみ
アーティストと公開交換日記
http://rsshforkyoto2016.tumblr.com/

山本聖子 (美術家)
1981年生まれ。2006年京都造形芸術大学大学院修了。2015年韓国の芸術祭DMZ Pilgrimage参加。2014年7月~9月オランダDordtYartにて滞在制作。2013年ポラ美術振興財団在外研修員としてメキシコシティに1年間滞在。
山本聖子展は、9月10日(土)~9月25日(日) ※スケジュール参照
「夢で見た地球儀」(2015)



「The Story of Byeongsangsoe 2015 in Search of Humanity」(2015)

ソン・サンビ (ビジュアルアーティスト)
1970年韓国ソウル生まれ。オランダ在住。2003年札幌AIR参加。2015年沖縄で、日本、韓国、フィリピンの歴史的關係を題材にプロジェクトを実施。



「苦よもぎの泉」(2016、コパヤン画展)

岩熊力也 (画家)
1969年東京生まれ。2004年(財)ポラ美術振興財団在外研修生としてメキシコシティ滞在。2008年VOCA展、大原美術館賞。



「ロベルト・デ・ラ・トーレ (ビジュアルアーティスト)」
1967年メキシコ生まれ。国立芸術大学・エスメラルダ教授。1990-1996年実験的グループ「19 Concreto」の創始者。多数の国際芸術祭やAIRに参加。

「PETER ENGLAND」
インド、ムンバイで2014年に行ったプロジェクトの記録
Photo: Babu Eshwar

Gallery PARC GRAND MARBLE

Gallery PARC 2016年後半のスケジュール

- 7月6日(水)~7月17日(日)
2016公募展#1: 湯川洋康・中安恵一「豊饒史のための考察2016」展(彫刻/インスタレーション)
土地の歴史・習俗などのリサーチから収集した物質を再構築展示。
- 7月19日(火)~7月31日(日)
2016公募展#2: 寺脇扶美「紫水晶からの手紙」展(絵画)
モチーフ「紫水晶」を絵画を中心に多様な視点により捉えて展示。
- 8月2日(火)~8月14日(日)
2016公募展#3: 嶋春香「MEET / MEAT」展(絵画)
イメージに「肉付け」する身体行為としての絵画のあり方を考察。
- 8月20日(土)~9月4日(日)
タイトルとホコラとツリズム season3 (リサーチ/インスタレーション)
谷本研・中村裕太によるリサーチプロジェクトの第三弾。

- 9月10日(土)~9月25日(日)
山本聖子 展(インスタレーション)
海外の滞在制作を経て、本展では日本に軸足を置いた作品を発表。
- 10月1日(土)~10月16日(日)
森太三 展(彫刻/インスタレーション)
ギャラリー空間全体を用いた大型のインスタレーションを発表。
- 10月18日(火)~10月30日(日)
木内貴志 展(インスタレーション)
「琳派」をはじめ、アートや社会を真面目に「遊んだ」作品を発表。
- 11月1日(火)~11月13日(日)
山添潤 展(彫刻)
ギャラリー空間をミニマルな石彫によって異化する山添潤の個展。

11月12日(土)~12月11日(日)の土日のみ
山本聖子キュレーション展「タイトル未定」 ※上の記事参照

御池通	地下鉄京都市役所前駅	三條通
ル・グランマールカフェ クラッセ	2F Gallery PARC	
1928ビル		
御寺町通		御原町通
		四條通

詳しいスケジュールはWEB参照
※展覧会のタイトルは、いずれも仮です。また、内容・日時などは予告なく変更する場合がございます。

京都市中京区弁慶石町48(三条通御幸町西北角)三条ありもとビル
「ル・グランマールカフェ クラッセ」店舗内2F
Tel・Fax: 075-231-0706
11:00~19:00(金曜日のみ20:00まで) 月曜休
<http://www.galleryparc.com/>

LOVE&HAPPINESS! フォトグラファーNINAに人生の美しさを教えてくれたグランマのポートレイト

シンガーのAIの妹でもあり、現在LAでフォトグラファー、デザイナーとして活躍する植村幸 NINAが、グランマール祇園で京都初の個展を開催した。作品は、祖母=グランマのポートレイト。アートを学んでいた16歳の時にカメラを手にし、グランマをモデルにポートレイトを撮り始めたNINA。モノクロームの画面に焼きつけられた親密で温かな作品は、私生活も心の中も全て開いてくれたグランマと家族である、一人の女性フォトグラファーとの深いコミュニケーションの賜物。ハートを写す「写心」というNINAのコンセプトそのもの。



フォトグラファーNINA写真展は、グランマール祇園で2016年4月に開催されました。

Special Interview 2



左から、P-CHO, GS, KAZUKI, SWAY, KUBO-C, ヘアメイクToshiyasu Oki (AFLOAT)

DOBERMAN INFINITY

熱く共感できる、ドーベルマンインフィニティのジャパニーズラップのスタイル。

2014年にデビューしたラップグループ、DOBERMAN INFINITY。初シングル「SAY YEAH!!!」で、フノリノの夏歌をリリースし、オリコン3位にランクイン。2016年、ラップにノスタルジックな歌詞が溶け合う楽曲「いつか」をリリース。メンバー5人のクールなルックスとは裏腹に、親しみやすく心に沁みる歌詞と歌でラップの表現の幅を広げて見せた。ステージやディスクでのEXILE、三代目 J Soul Brothersとの競演もあり、注目度は急上昇。デビューからわずか間に、幅広い層に人気を得て、昨年の全国ワンマンツアーでは全国7ヶ所9公演で、約44000人を動員して大成功を取っている。ラッパーとして長いキャリアのある KUBO-C(クボシー)、GS(ジーエス)、P-CHO(ピーチョウ)に、SWAY(スウェイ)とヴォーカル担当の KAZUKI(カズキ)が参加して現在のスタイルになった。「17歳くらいから、表現したいことの形がラップだった。初めは見よう見まねで、楽しいことをやってきたら、それが今に至っているって感じ」とGS。リーダーのKUBO-Cは「それぞれ個性あるメンバーだけど、それを僕は、あえてまとめません(笑)。大事なのは5人のバランスですね。

ステージでは比較的自由なフォーメーションで、でも一番いいバランスで毎回違うことをするんです。その一回一回の変化がオモシロいって言われますね。「楽曲の制作もみんなてぶつかってゼロから作り上げてきたし。5人でどこにでも一緒に行けるってというのが、僕らの強み」とMCを担当するSWAY。劇団EXILEでドラマ、映画、舞台でも活躍するマルチタレントでもある。そして「一番年下だけど、音楽の上ではうまく僕らのラップをまとめてくれる」とメンバーの絶大な信頼を集めるヴォーカルの KAZUKI。エモーショナルな歌声が、ラップというちょっとトンガった表現に丸みを帯びさせ、歌の世界を聴き手に届けている。「特に、シングル「いつか」では学生さんから「自分の体験とオーバーラップした」という感想をもらったりして、僕たちの音楽が届いているな、て、感じる。そういう時がうれしいですね」とP-CHO。そんなDOBERMAN INFINITYの新たな挑戦が、2016年7月リリースの両A面シングル「GA GA SUMMER / D.Island feat. m-flo」。

「特に、シングル「いつか」では学生さんから「自分の体験とオーバーラップした」という感想をもらったりして、僕たちの音楽が届いているな、て、感じる。そういう時がうれしいですね」とP-CHO。そんなDOBERMAN INFINITYの新たな挑戦が、2016年7月リリースの両A面シングル「GA GA SUMMER / D.Island feat. m-flo」。

「自己表現としてラップをやってきたけど、いまこのメンバーのDOBERMAN INFINITYになって初めて、人の心を動かせる音楽を作りたい、と思えるようになった。聴いてくれる人、ライブに来てくれる人の気分や人生を変えられる音楽が作れたら、と思います」とGS。ジャパニーズラップに新たな扉を開く、DOBERMAN INFINITYの世界は、聴く人の日常に音楽でこれまでにないハッピーな世界を体感させてくれる。

GA GA SUMMER / D.Island feat. m-flo
(通常版(CD+DVD))TFCC 89589 2016年7月27日発売 1111円(税別)
DOBERMAN INFINITY初の両A面シングル。ラッパー、SUNNY BOYと共にスタジオ入りして制作した、夏気分満載の楽曲。

Profile DOBERMAN INCとしてラッパーとして活動していたKUBO-C、GS、P-CHOにラッパーSWAY、シンガーKAZUKIが加入してDOBERMAN INFINITYとして2014年に活動を開始。三代目J Soul Brothers、EXILEなどへの楽曲、ライブへの参加も多数。2016年春には初となるアリーナ公演も含む全国ワンマンライブツアーで44000人を動員。